

ジオパーク研修会

7月27日(木)に「教職員向けジオパーク研修会」を開催しました。研修会には山本郡地域の44名の教職員の方が参加し、ジオパークの教育への活用について考えていただきました。当日は八峰中学校を会場に、秋田大学の林信太郎教授による講義と「小麦粉断層実験」の後、八峰白神ジオパークのサイトを巡りました。



鹿の浦展望台で画用紙を使って解説する林教授。

講義と小麦粉断層実験

林教授は食材を使った実験を開発・実践し、子どもに分かりやすく楽しく、そして美味しい講義を展開することで著名な方です。著書には「世界一おいしい

い火山の本―チョコやココアで噴火実験(小峰書店)―などがあります。講義では「大地の恵みと災害」をテーマに、山本郡地域の大地の成り立ちや特色を紹介しました。

小麦粉断層実験は、小麦粉を使った断層ができる様子が見られるモデル実験です。小麦粉とココア粉を交互にまぶすことによって地層を表現し、横から板で押すことにより断層のようにならずれができる様子が観察できます。実験材料が安く手軽に用意できるのが利点です。また、実験の後はお湯で溶かせば飲むことができます。楽しくおいしい実験です。

ジオパークの巡検

講義の後は八峰白神ジオパークを巡りました。巡検は林教授が案内役を務め、単なる解説ではなく参加者との受け答えを重視した楽しいガイドを行いました。

鹿の浦展望台では、砂丘の海岸線が続く峰浜地区と磯場が広がる八森地区を眺望し、両地形の特徴を対比しながら解説しま

した。

また、ジオサイト「樺海岸の柱状節理」では、実際に柱状節理を観察しながら柱状節理の形成の仕組みを解説しました。岩体が湧水に関わっていることにも触れ、農産物や酒蔵など八峰町の人々が受けている大地の恵みを紹介しました。

そして、巡検の後は黒ゴマと鮭をまぶして鉱物に見立てた「花こう岩おにぎり」の弁当を参加者に提供しました。

小麦粉断層実験のやり方

○用意するもの
小麦粉

- ・ココア粉(粒が細かいものが良い)
- ・透明な細長いケース
- ・板(キャッシュカードなど)

○手順

- ①小麦粉とココア粉を厚さ2mm(3mmになるようにケースの中に交互に入れていく。



地層を丁寧にきれいに作るのがポイントです!

②板を使って上からやさしく押し固める。

③板を使って横から水平に層を押ししていく。ゆっくり押しながら層が動く様子を観察する。



断層の発生の様子を観察してみましょう!

④断層の起こる順番や隆起の様子などを観察してみる。

⑤できれば、実際に地層や断層を観察できる場所に出かけて、実験との比較をしてみる。

※プレートテクトニクスやそれに伴う造山運動について事前学習をしましょう。

※手順、写真は「岡本義雄(2000)小麦粉を用いた断層モデル実験、大阪と科学教育、14、13-16。」より引用。

八峰白神ジオパーク推進協議会

地域おこし協力隊 三輪 拓磨

〒018-2632

秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一

ぶなっこランド内

TEL 0185-77-3086